

堺市指定管理者評価表

(評価対象期間 : 令和3年4月1日 から 令和4年3月31日 まで)

1 基本情報

(1) 公の施設の名称	
堺自然ふれあいの森	
(2) 施設の設置目的	
里地里山の保全、農、散策、遊び、学習などの活動を通じて、里山と人との新しいかかわり方を考えるきっかけの場づくりをするため	
(3) 所管部局	
建設局 公園緑地部 公園緑地整備課	
(4) 指定管理者名	
ふれあいの森パートナーズ (株式会社生態計画研究所、特定非営利活動法人いっちゃんクラブ)	
(5) 指定期間	
平成31年4月1日から令和6年3月31日まで(5年間)	
(6) 主な事業	
・ 堺自然ふれあいの森管理運営事業 (1) 施設の管理に関する業務 施設の維持管理、保守点検、現地調査等 (2) 施設の運営に関する業務 利用者の受入れ、市民ボランティアの育成・協働、各種団体・学校等への利用促進活動等 (3) 自主事業 小学生～高校生向け体験学習、農林産物の栽培・収穫体験と販売等	
(7) 施設分類	(8) 有料施設の有無
産業・基盤施設	有 (利用料金制)
(9) 選定方法(公募・非公募の別)	
公募	
(10) 主な利用者	(11) 市内における受益対象者数
市民	市民(不特定多数)
(12) 近隣の類似施設	
無	

2 管理運営状況

(1) 適正な管理運営の確保

ア 取組状況

平等利用、安全確保、個人情報の保護等	開園時、閉園時に園内巡回を行い、危険個所の解消や予防並びに、職員間での情報共有を行った。また、危険生物による被害防止のために施設利用者に対して注意喚起などを行った。個人情報保護については、堺市個人情報保護条例の規定に基づき、個人情報の利用目的と範囲を明確にし、適法かつ公正な手段により必要最小限の情報を収集した。特にイベント参加者の住所、氏名、年齢、性別、電話番号、メールアドレス、写真などの取扱いについては、個人情報及びコンプライアンス研修を通して職員全員で共通認識を持ち、個人情報の保護に細心の注意を払った。
職員配置、人材育成、施設の維持管理等	職員配置については、施設運営に必要なかつ適正な人員を配置した。人材育成については、自衛消防訓練や救命救急研修、人権研修、個人情報及びコンプライアンス研修等を実施し、管理運営に必要な専門知識や技術習得および継続的に能力の向上を図った。
施設の設置目的に沿った事業の実施	「周辺環境との連続性をふまえつつ、自然環境の保護、活用、復元を図っていく“里地里山の保全”を目標とし、里地里山と人との新しい関わり方を考えるきっかけの場づくりをめざす」という設置目的に基づき、効果的・効率的な管理運営を行った。また、周辺環境の変化に応じ、柔軟に生物多様性の向上を念頭に置くとともに、里地里山の生態系に配慮した順応型管理を基本として、管理運営に取り組んだ。
その他特筆すべき取組	令和3年度は、大阪府立大学からインターンを希望する学生ら6名の受け入れを行い、イベントの運営のサポートや館内展示作成、外来植物の防除作業、カエル類の産卵状況調査などに従事してもらった。また、里山保全に関する担い手育成と普及啓発イベントをどのように実施していけるかの試行検証として、ふれあいの森職員が講師となり、大阪府立大学の大学生に対して、植生調査等の実習を行い、実習を受けた大学生が自らの経験を元に、里山管理についての中高校生向けオンラインイベントを実施した。

イ 市による状況分析

・コロナ禍の緊急事態宣言発出に伴う臨時閉館期間の対応にも適宜対応し、施設の設置目的に基づき、里地里山の順応型管理を行い、柔軟に管理運営に取り組んだ。また、新たな取組として、里山の管理方法等の実習を受けた大学生が、里山管理についての中高校生向けオンラインイベントを実施するなど、里山保全に関する担い手育成に取り組んだ。

(2) 利用者サービスの向上

ア 利用状況

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
指定管理者名	ふれあいの森パートナーズ	ふれあいの森パートナーズ	ふれあいの森パートナーズ	ふれあいの森パートナーズ	ふれあいの森パートナーズ
利用者数(単位:人)	31,617	29,238	25,039	24,818	—
稼働率(単位:%)	—	—	—	—	—
利用者満足度(単位:%)	97.0	99.0	96.0	99.7	—

イ 取組状況

サービス向上、利用促進	園内の動植物調査を定期的実施し、それらの結果を元に森の館内に自然情報を掲示し、来園者へ随時情報提供を行った。特に、園内に生息する生きものの紹介や解説だけでなく、実際の調査器具や調査方法の解説などは来館者から非常に好評であった。また、レンジャーと来園者と気軽にコミュニケーションを取りながら自然や里山に関する学習の機会を提供できるよう、野外でも巡回時に質疑応答や解説対応(フィールド対応)を積極的に行った。
意見・苦情・要望等への対応	日々の業務に反映できるものは要望に応えられるように善処し、イベント内容などに関する要望については、個々のイベントでのアンケート結果なども勘案し、今後の運営会議等の場で関係者間で協議の上、段階的に検討していくものとした。その他、園内の自然情報や季節の見どころなどに関する要望については、森の館内の掲示板やSNS等での発信を実施した。
その他特筆すべき取組	各種イベントについては、実施可能な期間は、3密防止の観点から参加者数を減らしながら多くの体験学習機会を提供した。参加者には徹底した感染対策に協力いただき、スムーズな運営ができた。コロナ禍の取組みとして、小学校1校に対してZOOMを活用したオンラインでの講義を実施した。

ウ 市による状況分析

令和3年度の利用者数についても、新型コロナウイルス感染対策のため閉館した影響もあり、平成30年度と比べると、大幅に減少しているが、SNSを活用した広報や、ZOOMを活用した小学校向けのオンライン講座を行うなど、アフターコロナを見据えて対応した。

2 管理運営状況

(3) 収支

ア 収支状況

(単位:円)

■ 指定管理業務

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度 (予算)
指定管理者名		ふれあいの森 パートナーズ	ふれあいの森 パートナーズ	ふれあいの森 パートナーズ	ふれあいの森 パートナーズ	ふれあいの森 パートナーズ
収入	指定管理料	32,800,000	35,612,036	35,924,074	34,324,074	34,324,074
	利用料金	0	0	0	0	1,000
	負担金	0	0	0	0	0
	その他	1,069,839	445,483	98,023	129,544	215,000
合 計		33,869,839	36,057,519	36,022,097	34,453,618	34,540,074
支出	人件費	22,688,000	21,709,738	21,488,501	21,343,500	22,232,000
	委託料	1,692,956	3,023,344	3,160,676	4,639,956	4,242,296
	総支出額に占める 委託料の割合	5.0%	8.6%	8.9%	13.5%	12.3%
	修繕費	155,131	1,014,893	1,633,434	534,852	180,000
	光熱水費	1,997,526	1,091,610	1,196,996	884,591	1,380,000
	その他	7,138,508	8,328,092	7,864,586	7,044,331	6,505,778
合 計		33,672,121	35,167,677	35,344,193	34,447,230	34,540,074
収支差額		197,718	889,842	677,904	6,388	0
(市への納付金の額)		—	585,107	—	—	—
(徴収委託の場合の徴収額)		—	—	—	—	—

■ 自主事業 (有)

(単位:円)

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度 (予算)
収 入		669,950	532,350	285,546	352,947	552,600
支 出		365,987	210,431	333,298	295,083	389,000
収支差額		303,963	321,919	-47,752	57,864	163,600
(市への納付金の額)		—	—	—	—	—

イ 取組状況

経費の縮減、経理事務	新型コロナウイルス感染対策として、臨時休園やイベント中止、定員削減などの措置を講じたため、今年度も自主事業の収入が減少したが、3R(リデュース、リユース、リサイクル)の取組や節水・節電の取組みを積極的に実施するとともに、作業の内製化を図り、経費削減に努めた。
------------	---

ウ 市による状況分析

新型コロナウイルス感染対策として、市からの施設の休館の指示等により、利用者数が減少するなどの状況変化により、自主事業による収入が減少したが、節水・節電の取組を行うことで経費削減を行っている。

3 目標管理、総合評価

(1) 目標管理

ア 仕様書で定める目標の達成状況

■ 適正な管理運営の確保

指標	目標	実績
有責事故発生件数	有責事故発生件数0件	有責事故発生件数0件
遠足等で来園した小学校数	30校以上	21校

■ 利用者サービスの向上

指標	目標	実績
来園者数	3万3千人以上	24,818人
利用者満足度	来園者の満足度 90%以上 イベント参加者の満足度 95%以上	来園者の満足度 100% イベント参加者の満足度 99.7%

■ 収支

指標	目標	実績
適正な経費の支出	事業計画に基づく適正な経費の支出	事業計画に基づく適正な経費の支出を実施

イ 市による状況分析

新型コロナウイルス感染対策のための閉館等の対応により、小学校数、来園者数の目標に達することができなかった。コロナ禍での休館等において、利用者数は目標値を下回ったが、一般・イベントアンケートにおける満足度は高水準を維持しており、職員の丁寧な対応が評価されたものと考えられる。

(2) 総合評価

目標の達成状況のほか、管理運営状況も含め、以下の評価基準により総合的に評価を行う。

	指定管理者	所管課
評価	B	B
評価の理由	満足度及び有責事故発生件数、収支は目標を達成した。来園者数及び小学校数については、緊急事態宣言発令に伴う臨時休園措置や、イベントや団体受入れ時の人数制限を実施したため、目標値を下回った。	来園者数及び小学校の来園者数は未達成となったが、満足度及び有責事故発生件数、収支は目標を達成した。また、SNSを活用した広報やZOOMを活用したオンライン講座を実施する等、改善に向けて積極的に取り組んだことは評価できる。また市と連携を図りながら、新型コロナウイルス感染対策を行い、ソーシャルディスタンスを保ち、検温・消毒・換気の徹底などを行い運営を実施した。
今後の取組	新しい生活様式を実践する中で、来園者と職員の安全を確保しつつ、来園者の満足度を維持するため、セルフガイド教材の開発の充実化を図るほか、イベントに参加しなくても森を楽しむ提案を行う。また、南部丘陵の拠点施設として、担い手育成などの観点から周辺地域の大学生との連携事業を継続、発展できるように新たな取組を検討する。	引き続き、利用者の安全確保に努めるとともに、大学生との連携事業等、コロナ禍での新たな取組等の実施により、新規来園者の獲得及び利用者満足度の向上を図りたい。

評価基準	A	仕様書で求める目標や水準を上回る管理運営がなされ、優良であるもの
	B	概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80~100%)の管理運営がなされ、適正であるもの
	C	管理運営が仕様書で求める目標や水準を下回っており、努力が必要であるもの
	D	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要であるもの